

U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

米国 製造業の拡大ペース鈍化に歯止めの兆し (05年3月NY連銀製造業景気指数)

発表日：05年3月15日(火)

～目先緩やかなペースでの拡大継続～

(No. UI - 185)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001、4518 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

NY連銀製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間
04/05	31.01	35.47	39.85	21.99	2.50	12.50	13.91	56.67	17.50	22.34
04/06	30.19	26.87	32.94	15.39	3.42	5.98	8.65	52.14	20.51	13.39
04/07	34.65	27.72	32.44	15.28	5.98	5.98	13.06	56.41	17.95	20.24
04/08	14.67	18.34	15.56	18.87	-1.61	3.23	-0.62	50.00	16.13	10.56
04/09	26.72	24.84	29.70	19.51	-1.63	4.88	9.24	52.03	16.26	16.25
04/10	23.75	22.06	22.34	16.33	1.67	4.17	0.45	59.17	15.00	5.89
04/11	19.78	17.52	23.15	9.63	0.00	-5.00	0.01	53.33	17.50	3.32
04/12	27.07	36.14	35.62	15.71	1.92	2.88	7.69	57.69	15.38	2.86
05/01	20.08	20.99	26.20	12.71	-10.92	-1.68	5.65	50.42	27.73	16.72
05/02	19.19	17.28	33.27	8.93	0.78	-1.55	-12.18	48.84	13.18	9.30
05/03	19.61	7.92	21.30	11.38	-3.67	3.67	-10.88	53.21	15.60	8.43

NY連銀製造業景気指数(6ヵ月先予測)の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間	設備投資
04/05	51.50	52.60	51.22	32.73	0.83	0.83	16.75	51.67	25.83	17.21	31.67
04/06	53.91	52.67	59.27	32.06	3.42	0.85	23.64	54.70	27.35	16.48	30.77
04/07	53.84	56.38	61.37	35.35	6.84	3.42	16.76	52.14	30.77	25.39	29.06
04/08	50.04	48.49	52.29	10.63	-4.03	4.03	4.15	53.23	21.77	13.35	20.97
04/09	60.21	53.38	57.70	26.74	-0.81	-2.44	15.49	61.79	27.64	17.80	31.71
04/10	58.90	56.50	55.67	33.60	0.83	0.00	14.37	52.50	34.17	21.83	31.67
04/11	52.36	50.12	50.62	22.84	0.83	-1.67	12.17	55.83	28.33	10.04	29.17
04/12	46.96	41.84	43.46	22.84	-3.85	1.92	7.01	62.50	25.96	5.11	25.96
05/01	42.16	49.07	47.67	22.91	11.76	0.84	12.82	55.46	35.29	5.12	32.77
05/02	40.01	39.94	41.17	26.08	-2.33	-3.10	-0.64	53.49	22.48	0.69	21.71
05/03	44.08	43.85	42.23	26.46	-5.50	-1.83	-3.01	57.80	30.28	8.80	33.03

前月比0.42ポイントの上昇

3月のNY連銀製造業景気指数(NY連銀管轄の地区の製造業の動向を示す)は、新規受注、出荷、在庫が低下したものの、雇用、入荷遅延の上昇により19.61と前月比0.42ポイント上昇した。市場予想の19.9を下回っていることや受注が急低下していることから、市場が考えていた以上に製造業部門は緩やかな回復となっている。ただし、拡大縮小の分岐点である000を23ヵ月連続で上回っており、製造業部門は拡大傾向にある。

3月の製造業景況指数が一旦下げ止まったことに加え、3月入り後の小売売上高が堅調に推移していることから、足下で潜在成長率並みの成長が持続しているとの見方が確認された。このため、インフレ懸念が強まるもと目先10年債利回りの下げ余地は乏しい。

NY連銀製造業景気指数の6ヵ月先予測指数は、6ヵ月ぶりに前月から上昇しており、NY連銀製造業景気指数が早晩底打ちする可能性を示唆。

インフレ加速を示唆せず

個別にみると、出荷が前月の33.27から21.30に低下したものの、在庫指数は3.67とマイナスに転じた。さらに、新規受注指数は前月の17.28から7.92に低下し、受注残も10.88(12.18)とマイナスで推移していることから、3月のNY連銀管轄地区の生産は拡大ペースが鈍化している

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

と予想される。

雇用関連では、雇用指数は11.38と前月の8.93から上昇しており、3月の製造業部門の雇用減少ペースが鈍化していることが示唆された。

物価面では、販売価格指数が小幅上昇にとどまっていることから、インフレ圧力は急激には強まっていない。一方で、企業収益面では仕入価格の上昇幅が大きいことからコスト上昇圧力が強まっている。

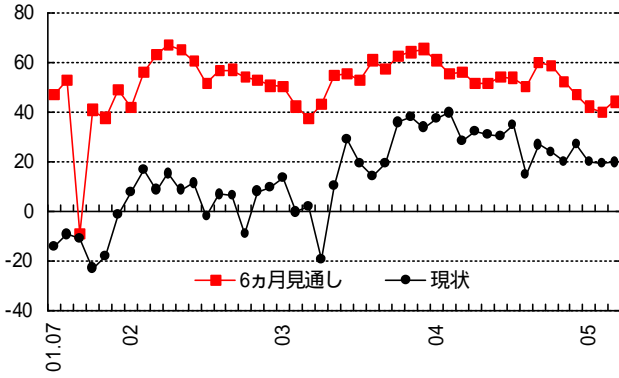
就業時間と雇用指数が同時に改善

6ヵ月先予測では、仕入れ価格の上昇を見込んでいる割合が小幅の増加にとどまっている一方、販売価格の上昇を見込む割合が大幅に増加しており、先行きの交易条件の改善を予想している。このような交易条件の見通しの下、週平均就業時間のプラス幅、雇用指数のプラス幅がそれぞれ拡大していることから、雇用の抑制が限界に達したため企業が採用のペースを速める可能性がある。

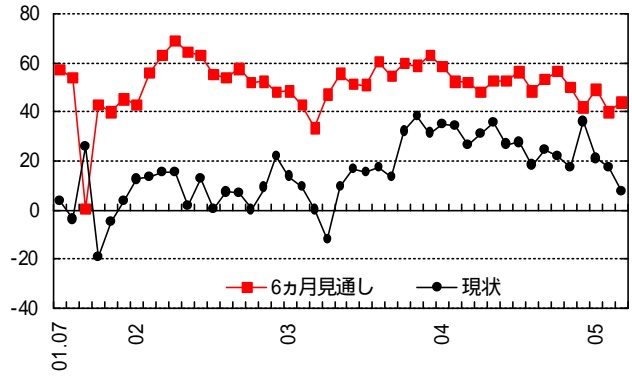
設備投資は目先堅調に推移

設備投資計画は30.03と前月の21.71から上昇し、高水準を維持していることから、企業は設備投資に前向きな姿勢を維持しているとみられ、今後も設備投資が急減するリスクは小さい。

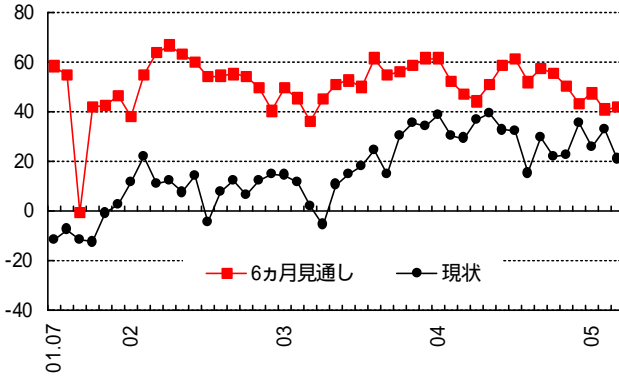
NY連銀製造業景気指数の推移



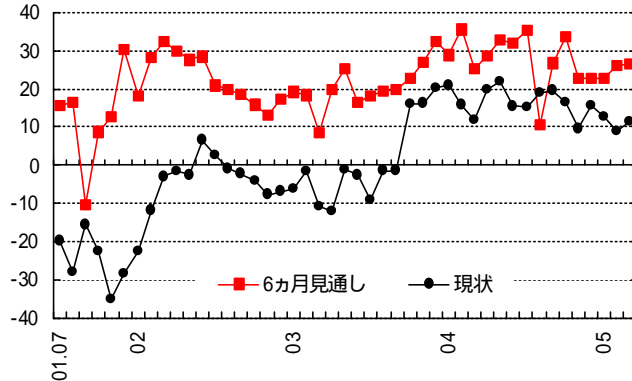
新規受注(NY連銀製造業景気指数)の推移



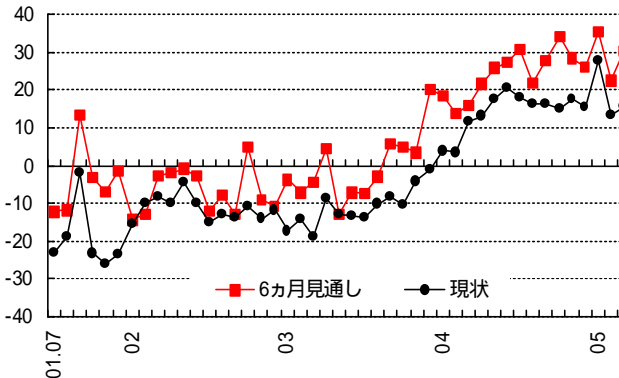
出荷(NY連銀製造業景気指数)の推移



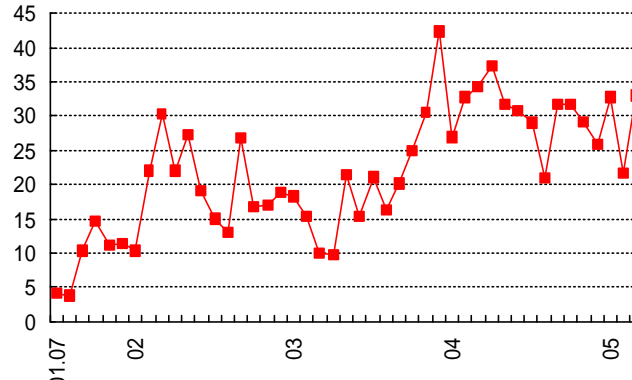
雇用指数(NY連銀製造業景気指数)の推移



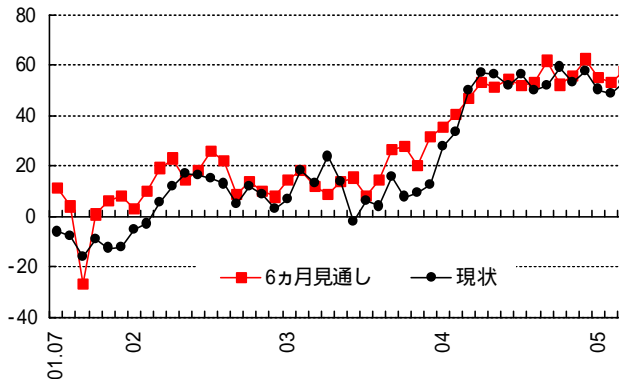
販売価格(NY連銀製造業景気指数)の推移



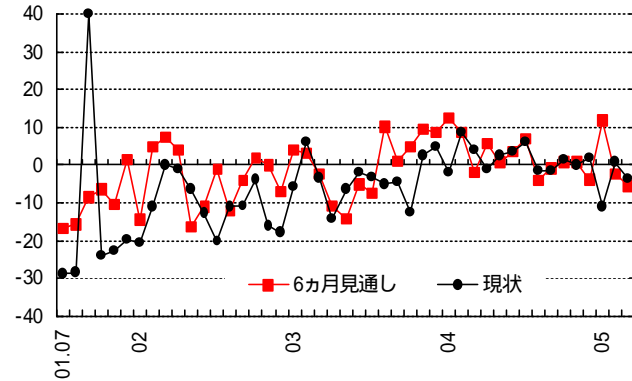
設備投資計画(NY連銀製造業景気指数)の推移



仕入価格(NY連銀製造業景気指数)の推移



在庫(NY連銀製造業景気指数)の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。